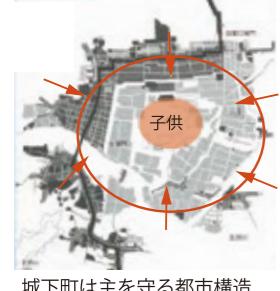


城址公園



福の井ホール

まちづくり福井（株）の事務所が入っており、城址公園全体のマネジメントを行う。小さなホールが備わっており、近くの保育園や小学校の児童の発表会などで使われる。

福の井保育園

まちなかに子どもが遊び場所をつくる。駅の近くで働いているお母さんも保育園に通っている子どもとお昼を食べる事が出来る。

福の井食堂

保育園の園児や福の井ハウスの高齢者がお昼を食べにくる。食堂を介して二つの施設がつながる。

福の井ハウス（サービス付き高齢者向け住宅）

今後増大する高齢者に対してセーフティネットをまちの中心部、城址に設ける。

在宅でのケアや介護ができなくなった場合、現在日本の社会では裕福でなく身寄りのない高齢者の生活の質を維持するのは難しい。そういう境遇の高齢者の受け皿を城址というまちなかの場に用意することで、社会とかかわりを持ちながら人間らしく生きることができる。

城址を眺めるほっとスポット



城址公園の玄関口

城址公園へとつながる玄関口として、コミュニティバスのバス停や横断歩道を整備し、城址公園へのアクセスを高める。

緑、歴史のつなぎり

近接する歴史のみちや緑のシンボル軸と城址公園の結節点とする。都市の中で緑や歴史を感じられる空間をつなげていく。



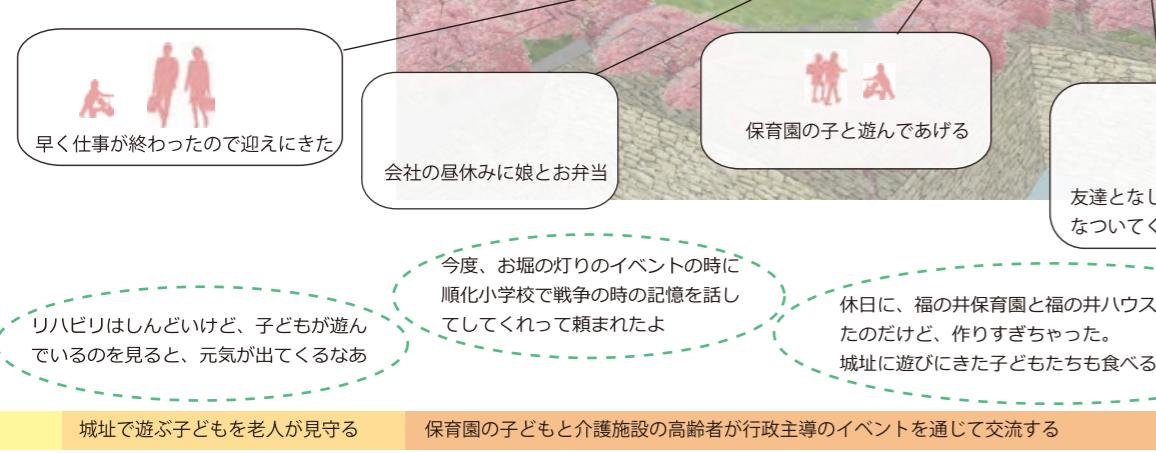
歴史と緑をつなぐ城址の玄関口をつくる

現代版城下町

城址は福井の未来を担う子供や支援すべき高齢者を守る場と位置づける。歴史的にも価値が高い城址により自然に近いかたちで残し、その空間の意味、質を継承していく。

城址で生まれる新しい人間関係

他世代の交流によって、これまでになかった新しい人間関係が生まれる。



城址で遊ぶ子どもを老人が見守る

保育園の子どもと介護施設の高齢者が行政主導のイベントを通じて交流する

リハビリはしんどいけど、子どもが遊んでいるのを見ると、元気が出るくなあ

今度、お堀の灯りのイベントの時に順化小学校で戦争時の記憶を話してくれって頼まれたよ

休日に、福の井保育園と福の井ハウスで豚汁会をしたんだけど、作りすぎちゃった。

城址に遊びにきた子どもたちも食べるかしら。

アクティビティが城址公園の清掃・管理をボランティアで手伝う

子どもと高齢者が積極的に交流するようになる

名物おばあちゃんに育児の相談

保育園の子どもと遊んであげる

早く仕事が終わってるので迎えにきた

友達となじめないのか、なついてくる子がいる

会社の昼休みに娘と弁当

遊んであけているうちに自分の孫のように思えてきた

リハビリもかなて福の井ハウスの裏に畑を作ったら、保育園の子どもたちが遊びにくるようになってね。せっかくから花壇の手入れも始めたのよ。

あつまりから城址への眺めの確保

気付いたら会社の前に広場ができるて、お堀も見えて、気持ちいいなあ。

まちなかで一休みする

よく見かける人と会話を交わす夢アートが開催される

企業局前の企業交流拠点

企業交流の場。情報、人が交わる事で新しい製品、ビジネスが生まれる。

あつまりは商談などにも使われ、産業見本市などのイベントの拠点となる。

見本市イメージ

片町界隈

水辺を楽しむほっとスポット

お堀の灯り（7月）の特等席になる。

お堀の灯りは戦災、震災を忍ぶイベントである。多世代で、生と死を考える場とする。

福井ゆめアート（10月）

あつまりの内部空間や外壁を利用したアートでイベントが盛り上がる。

通り沿いにあつまりが見える

浜町界隈

市役所前駅待合室

まちをつなぐ場所

福井鉄道の市役所前駅は、大手の業務地区と片町の商業地区の境界に位置し、フェニックスまつりでは駅周辺が踊りの舞台となるなど、まち歩きの要衝になり得る。

上下線ホーム統一

現在離れているホームを島式1面とし、アクセスと乗り換えの煩雑さを改善しつつあつまりを設けるスペースを創出する。同時に、軌道敷の緑化を推進することで、良好な景観、夏場の路面温度の低減、祭りの際のオーナブースなど、都市環境の向上に寄与する。

電車がやってくるまで、しばしコンビニのコーヒーで一休み。夏は日陰のある風通しの良い室内でホット一息。寒い夜は暖をとろうとする人達によって、ちょっとした会話が生まれていく。

ホームの現況

上下線ホームを統一した際の平面図

福井フェニックスまつりには、待合室が民謡・YOSAKOIイッショライの審査員となり、軌道敷の緑地は観覧席になる。

あ、こんなことができたんだ
電車も便利になったなあ
どうも、よく会いますねー
お久しぶりじゃん！元気してた？

あつまりの種 芽 種 芽

共同中庭のある住宅地

共同中庭のある住宅地

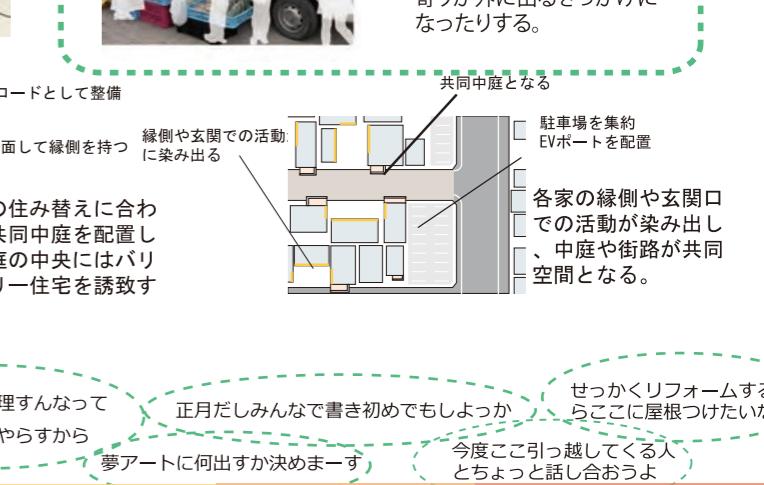


歴史的な意味づけ

コモリベースは会所地として城下町に存在していた。現在の近所付き合いを見直し、住まいの方の面からコミュニティを考えていく。

日本版コレクティブハウス

コレクティブハウスとは、複数の世帯が共用部分を有して住むことで家事を効率化したりつながりを強くしたりするもの。多世代型や、高齢者が協力し合って暮らすシニア型などがある。あつまりを介して適度な距離感で近所と付き合い、互助共助のしくみを育てていく。



せっかくリフォームするからここに屋根つけたい

今度どこで話してくる人とどこで話すか決めてしょ

正月だみんなで書き初めてもしょ

夢アートに何出すか決めまーす

今度どこで話してくる人とどこで話すか決めてしょ

住民が中庭に面して家を建てる始める